おぢか 議会だより

第116号　2021. 3.31

（卒業レポート発表を前にして）

contents

北松西高生卒業レポート発表 地域のために役に立てる　・・2～

定例３月会議　令和３年度予算審議ほか・・・・・・・・・・・・・・8～

町長！看護師の働き方改革を早急に！　・・・・・・・・・・・・・・・16～

町長！コロナ後の連携再構築で観光に力を！・・・・・・・・・・・・18

町長！コロナ禍を社会構造変化の好機に！・・・・・・・・・・・・・20～

町長！資源ごみの分別に町がもっと力を！　・・・・・・・・・・・・・23

値中３年生模擬議会 議場で堂々と一般質問　・・・・・・・26～

北松西高生卒業レポート

～自分たちは地域のために役に立てる～

令和２年 12 月 17 日、小値賀町議会議場において、北松西高校３年生の卒業レポート発表会が行われました。

小 (知る) 中 (問う) 高 (提案する) 一貫教育のゴールとして、ふるさと小値賀が抱える課題の現状と背景をフィールドワークを通じて分析し、解決策を町と議会に提案するものです。

本町がふるさととして持続可能であるために何が必要か、より深く考え、熱く語る…

議場で、生徒全員がチームごとに発表し、議員からの質疑に対応してさらに深めていく…

貴重な体験になったのではないでしょうか。

提言を受けて議員のモチベーションが高まります

～小値賀の枯れ松を灰利用～

灰ブリットりんりん♪

メンバー
小﨑結希
竹本明日香
永田和人
升水汐里

松くい虫（マツ材線虫病）により枯れた松は伐採焼却しているが、たくさんの灰が出る。その灰を肥料として活用できないか、栽培実験を行って考えました。

研究動機は

小値賀町の松枯れは深刻化しており、枯れ松は伐採した後、他の松への被害を防ぐために燃やすしかない状況である。

燃やした後に出る大量の灰を肥料として活用できないかと考えた。

提案します

松の灰が植物に及ぼす影響と、松の灰に島内で作られている堆肥の「有機りんりん」を合わせて使用したときの作物の生育状況を実際に何パターンかの生育比較実験を行って観察した。

実験により、松の灰を適度に土に混ぜることで成長が促進され、味にも変化がみられることがわかった。

また、「有機りんりん」も混ぜることで、作物の成長がより促進された。

以上のことから、松の灰と「有機りんりん」を組み合わせた「ハイブリッドりんりん」を商品化し、島内の人に使用してもらうことで島内の農作物の生育が良くなり、かつ、枯れている松の有効利用ができるのではないか。

質疑応答

問 実験に用いた土壌の種類や肥料はどうしたのか。

答 園芸用土を用いた。肥料はいっさい使っていない。

問 ＰＨ（酸性とアルカリ性の程度）は計ったのか。

答 計っていない。

問 松の灰は永続的に供給できないのではないか。松に代わる灰は？

答 今後の課題としたい。

発言する松屋治郎議員

許可を得て毎日たくさんの枯れ松を燃やしています

MO復活　～藻を求めて～

そうだ、アイゴを食べよう!!

メンバー
神川陸
橋本虎大郎
守山一徳

アワビやサザエの減少は、食害などによる藻場の減少が大きく関わっている。
藻を大量に食べるウニやアイゴを減らす策を考えました。

研究動機は

アワビやサザエなどをこれからの小値賀町に残していくためにも、今ここで藻場の減少を食い止める必要がある。

藻場の減少はウニやアイゴによる食害が主な原因である。そこで、

①ウニの養殖
②アイゴ※を食べよう
③小値賀のMO回復！魚釣り大会

この3つの策によって食害による藻場の減少を食い止めることができるのではないかと考えた。

結果は

①今回ウニの養殖は2か月間と短く、また、えさの量や頻度が悪かったため身入りが悪かった。

今後は、さらに検討していく必要がある。

②アイゴのさばき方や調理の仕方についてポスターにすることができた。

アイゴの美味しさを広めることで、アイゴを釣る人を増やしていきたい。

③魚釣り大会とガンガゼ駆除をセットにすることにより、本町の藻場についての関心を高める。

主催者を募集し、要項案を詳しく検討する必要がある。

フリップを使ってアイゴの食べ方も

質疑応答

問 収支案が出ているのはとても良いが、支出が余っているのはどういうことか。

答 次の対策などに使えたらいいと考えました。

問 身入りがよくないということだが、ブロッコリーだと身入りが良いというのがあった。

神奈川県横須賀市での実験では、1月から3月は身入りが悪いという結果が出ているので、気にしなくて良いだろう。

答 アドバイスありがとうございます。

※アイゴ
体調25㎝くらいになる。ヒレのトゲに毒があるので、切り取ってから調理する。町内ではヤジロ、ヤノバリ、バリと呼ばれている。

（写真提供：ぼうずコンニャク㈱）

メンバー
川口智哉
福田匡洋
村中敬一
山元春花

農業など産業の衰退の背景には、少子高齢化や人口減少による後継者不足がある。島の存続のため、どうすれば産業を活性化できるか考えました。

研究動機は

小値賀町における農業などの産業の衰退の背景には、少子高齢化や人口減少による後継者不足が深刻であると実感した。

このままでは本町の産業の衰退は避けられず、小値賀という島の存続が危ぶまれる。

そこで、私たちはこの状況を変えたいと思い、どうすれば産業を活性化することができるかを考えた。

提案します

本町の産業を活性化させるためには、農業の振興が欠かせない。

県内外の高校生を対象とした「おぢかインターンシップ」と農泊を行って、小値賀の農業に興味を持つ人を増やし、移住者の増加にもつなげたい。

農業を活性化させるためには、外部に発信するだけではなく、島内の生徒に対しても就農意欲を向上することが重要であるため、農業に関する教育の充実を提案する。

また、私たち高校生が主体となり、話題性のある商品開発などさまざまな取り組みを行うことで、今後の農業の振興に貢献したい。

質疑応答

問 北松西高生に尋ねたアンケートの「農業に携わりたいか」は、農業という専業イメージか、農的な暮らしをイメージさせたのか。

答 農業という専業的なものとして尋ねた。

問 自分でつくった野菜を食べたいですか、といった農的な暮らしも含めると、より農業への関心が高められるのではないか。

答 アドバイスありがとうございます。

ブロッコリーの収穫体験をする民泊の宿泊客

発言する末永一朗議員

～島全体で防災意識を高める～

小値賀の防災の在り方

メンバー
川口みさと
後藤翼
福﨑結衣
山下翔護
山本春香

小値賀町民の防災に対する意識が低いことが調査の結果わかった。
町民の防災意識を高めるにはどうしたらいいか考えました。

問題意識は

災害や感染症の影響で定期船の運航が長期間できなくなった場合、離島である小値賀町では食料品をはじめ生活必需品が入手できなくなるという最悪の状況になりかねない。

そこで、小値賀町民が防災について日頃どの程度考えているのか、また小値賀町が防災に対してどういった備えをしているのかを調べた。

提案します

①サバイバル飯の試作を通して

ご飯、麺、パンはカセットコンロを用いて簡単に作ることができ、特に土鍋ご飯は日常的に作ることができる。

避難場所で火を使わずに食べることができる非常時の食料を備蓄したうえで、町民の方にサバイバル飯の作り方を知っておいてほしい。

②防災意識を高めるために町への提案として以下の3つを挙げる。

◎高校生が作成した手引書の配付や掲示…町民に手に取ってもらいやすくなる。

◎小中高と町が連携した避難訓練…高校生が非常時の人手不足に対応できるようになる。

◎自助・公助の関係の検討…非常食などの備蓄状況を公開し、町民から意見を募るべきだ。

また、災害時の人手不足にどう対応するかが課題だ。

防災の手引きも作りました

質疑応答

問 カセットコンロが無い、水しか無いというときの状況は考えたか。

答 考えなかった。

問 アルファ米は自分でも作れる。

カップ麺もお湯ではなくて水で食べられるものがある。それらも追加してはどうか。

答 アルファ米の自作には手がかかるのと、水で食べるのには長時間かかるということで、今回は含めなかった。

メンバー
伊藤理子
神﨑耕輔
北村和紀
森優亮

小値賀の知名度を上げて観光客を増やすにはどうすればいいか。
ＳＮＳを用いて自分たちで島の情報を発信することが重要だと考えました。

問題意識は

小値賀に関する情報をＳＮＳを用いてＰＲし、小値賀に興味を持ってもらうことで、コロナ終息後にも観光客に来島してもらうことができる。

そのためにも、去年から英語教育の一貫として始まった北松西高公式Twitterを改善したり、ＰＲ動画を作成・投稿したりして、小値賀を多くの方に認知してもらうことが必要ではないかと考えた。

提案します

◎北松西高校公式Twitterの改善

このまま英語で発信を続けるのではなく、日本語でさまざまなことを発信していくことが情報を多くの人に見てもらう近道だと考える。

また、観光客が来島した際に本校のツイートをリツイート※していたら、商品券を渡す取組ができないか。

その結果として、フォロワーの増加や情報拡散が期待できる。

◎ＰＲ動画の作成・投稿

小値賀町に関するＰＲ動画を地域おこし協力隊とともに撮影し、YouTubeに投稿して知名度の上昇をねらう。

小値賀の観光資源は無尽です（笛吹のまつり）
Ojika's tourism potential is limitless.

※リツイート
ツイッター（Twitter）において、他者もしくは自分の投稿を再度投稿する機能のこと。

質疑応答

問 英語、日本語、動画と複雑になってくるので、自分たちで盛り上がりながら続けていく体制ができるか？

答 日本語訳をベースに英語版をつくっているので、大丈夫だ。

問 せっかく英語版をしているので、力がそがれないだろうか。

また、北松西高校生ならではの情報があってもよいのではないか。

答 参考にします。

定例３月会議

人口減少問題解決に向けて

定住促進、子育て支援、起業・事業拡大の支援など全力で

新年度予算を可決

令和３年定例３月会議を３月８日から15日までの８日間の日程で開催しました。

今回の定例会議のメインテーマは令和３年度の小値賀町の予算です。

人口減少問題の解決に向け、定住促進、子どもの教育や子育て支援、医療の充実、起業や事業拡大に対する支援、後継者対策、産業振興に重点を置いた予算編成方針になっており、一般会計と７つの特別会計それぞれで活発な質疑が行われました。

なお冒頭で、議会運営委員会（近藤隆二郎委員長）から、「イクボス宣言」決議の発議があり、全員異議なしで採択されました（左ページ）。

予算のほか、各会計の今年度の補正予算、条例の改正、指定管理者の指定、教育委員会委員の任命同意などの議案が出されました。

慎重に審議を重ね、すべて全会一致で可決成立しています。

一般質問は４人が登壇

一般質問では、近藤隆二郎議員、宮﨑良保議員、松屋治郎議員、今田光弘議員の４名が登場。

それぞれ町長等の考えを真剣に、熱く、厳しく質（ただ）しました。（16ページ～）。

小値賀町の「公の施設」のうち次の４施設の指定管理者が決まりました。

あわび館⇒一般財団法人小値賀町担い手公社　【27号議案】

地域福祉センター⇒社会福祉法人小値賀町社会福祉協議会【28号議案】

高齢者生活福祉センター（たんぽぽ荘）⇒同上【29号議案】

介護予防センター（地域福祉センター２階）⇒同上【30号議案】

各施設とも指定期間は令和３年４月１日から５年間の予定です。

27号議案　28号議案　29号議案　30号議案

イクボス宣言

「イクボス宣言」を議決
議会としてはおそらく全国で初めて

「イクボス」とは、職場でともに働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむことができる経営者・管理職のことを言います。

仕事と生活の調和した働き方の実現には、まずは職場の上司がその必要性を理解し、行動することがカギになります。

議員自らがワークライフバランスを重視し、人生を楽しむことで小値賀町に「イクボス」の取り組みを浸透させ、町民の皆さんが誇れる小値賀町をめざすため、小値賀町議会として「イクボス宣言」を行いました。

提案理由を説明する近藤隆二郎議員

イクボス宣言

私たちは、共に活動する組織の仲間と地域社会で活動している人たちの生活と仕事の両立を応援し、自らも輝きながら、それらの成果を出す「イクボス」になることを誓います。

- 共に活動する人たちの私生活を配慮し、お互いのキャリアを応援することにより、働きやすく、地域活動もしやすい小値賀町の風土を醸成します。
- 自らも率先して仕事や活動を充実させるとともに、家庭や地域で積極的な役割を果たし、自身の生き方を楽しみます。
- 地域社会に「イクボス」の取り組みを浸透させ、また「イクボス」の仲間を増やすことで、誇れるまち小値賀を実現します。
- 上記の活動を通して、組織や地域で次世代や未来を育てる「イクボス」を応援します。

令和3年3月8日

小値賀町議会

賛成討論する宮﨑良保議員と今田光弘議員

宣言をしただけで終わらないように

一般会計予算

令和３年度
予算総額 39 億 3400 万円
（歳入・歳出ともに）

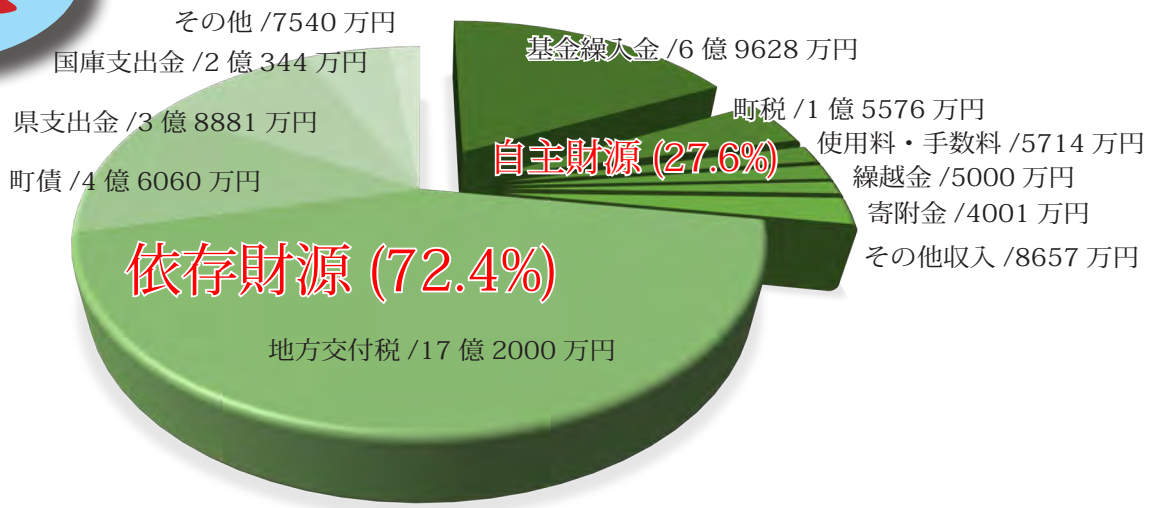
歳出

令和３年度に使われる町の大切なお金の内訳

衛　生　費	8 億 1610 万円	4 億 2244 万円増	保健衛生、環境衛生、健康、清掃などに要する費用
農林水産業費	6 億 5837 万円	3455 万円増	農林水産業の振興や松くい虫防除などに要する費用
総　務　費	5 億 7319 万円	5096 万円増	役場全体の維持管理、徴税、選挙などに要する費用
民　生　費	5 億 6737 万円	1327 万円増	社会福祉、児童福祉、生活保護などに要する費用
公　債　費	3 億 9678 万円	1529 万円増	町債として町が借りたお金を返済する元金と利子
教　育　費	2 億 8481 万円	1 億 3240 万円減	小中学校、公民館などの管理や離島留学に要する費用
商　工　費	2 億 2839 万円	6644 万円増	商工業の振興や観光に関する費用
土　木　費	2 億　701 万円	4092 万円減	道路や町営住宅の維持管理などに要する費用
消　防　費	1 億 2103 万円	1134 万円増	消防団や消防署などに要する費用
議　会　費	4784 万円	424 万円減	議会運営や議員に係る費用
そ　の　他	3314 万円	129 万円増	諸支出金、予備費など
合 計	39 億 3400 万円	4 億 3800 万円増	（前年度当初予算額との比較増・減）

（端数処理により内訳と合計が一致しない）

歳入



依存財源：国や県から定められた額を交付・割り当てられるお金や金融機関から借りてくるお金
自主財源：町が直接集めるお金（この比率が高いほど自主的な財政運営ができる）

一般会計
町民一人当たりの予算：約 170 万円（前年度当初予算：約 148 万円）

一般会計予算

予算特別委員会　時には熱くやりとり重ねる
明日の小値賀町のため　小値賀町民のため

町長から提出された令和３年度予算は、予算特別委員会（末永一朗委員長）に場を移して審査を行いました。

予算を決定するのは、町長ではなく議会です。

明日の小値賀町のため、小値賀町民のため、町民が納得し理解が得られる予算か否か、真剣に、時には熱くなりながらも冷静に、議員も執行部も真剣に真摯（しんし）にやり取りを続けました。

審査後、本会議の審議で全会一致で賛成、可決成立しています。

なお採決前の賛成討論では、新規事業が多数見受けられるが財政状況を考えるとすべての事業を令和３年度に行う必要があるのか疑問を感じる、という意見や、「ふるさと寄附金」は、当初予算から積極的な事業展開を見せてほしかった、という意見も出されました。

予算特別委員会の審査報告をする末永一朗委員長

賛成討論をする今田光弘議員

主なやりとり

歳入関連

町有住宅を増やしたい

問 住宅使用料の内訳は。

答 現在町営住宅は低所得者向けで65戸、町有住宅は一般向けで24戸。

問 今後の住宅建設の見通しは。

答 移住者向けの住宅が少ないため、財政状況によるが、令和４年度から町有住宅を年に３～５棟建てていきたいと考えている。

問 町税の滞納状況は。

答 現在、滞納者は一般会計で約30名、滞納額は約６００万円だ。

問 滞納者に対し、どのような対応をしているのか。

答 滞納者の状況調査、財産調査を行い、給与の差し押さえも行っていく。

問 ふるさと寄附金が今回２０００万円ほど増額となっているが、見通しは。

答 令和２年度に今現在で３３６８万円という多額の寄付をいただいており、３月末までにはまだ増えると思われる。

ふるさと寄附金には力を入れており、この予算額とした。

問 子どもカレンダーの売り上げが計上されているのはなぜか。

答 町内の書店などでの売り上げ分だ。子どもたちは産業まつりで売って、卒業アルバム代に充てている。

問 けち臭い。この売り上げも子どもたちに渡せばいいのでは。

答 子どもカレンダーの在り方について検討していく。

一般会計予算審査

主なやりとり

油圧ショベルと木材破砕機購入
山積みの廃材などの処理を急ぐ

歳出関連

問木材破砕機と油圧ショベルは、既にあるのにも関わらずなぜ購入（４４００万円）するのか。

答台風被害による解体廃材などが山積状態で、その処理のため油圧ショベルと木材破砕機を購入し、重機オペレーターも２人体制として処理を進めるため。

木材破砕機は、木や廃材を破砕し、ウッドチップにするもので、チップは防草などに効果があるのではないかと考えている。

油圧ショベル

木材破砕機

問旧小西邸と津田耕平商店倉庫の解体工事（６５０万円）とは。

答町が寄附を受けた物件の解体工事費。

笛吹集落の中にあって道路が狭く、福祉車両や緊急車両などが通りにくいことから、解体して通りやすくする。

問今回も雇用機会拡充事業補助金（８５５０万円）が計上されているが、過年度の事業では計画どおり雇用しているか。

答目標の雇用はほぼ達成しているが、満たないところもある。

今回は事業拡大が６件、創業が３件を予定。

なお令和３年度から、創業の場合は新たな雇用は求めないこととなっており、今後、周知を図っていきたい。

問社会福祉協議会への補助金２３８０万円の中身は。

答社協から提出された経営戦略計画の中で、経営の立て直しに必要な金額として上げられた額を基に算定。

局長、事務職２名の人件費と運営費の一部になる。

問毎年度この額か。

答経営戦略計画を基に中長期的に運営を進めていく中で、少しでも補助金の額を下げていけるよう経営努力をしていただく。

町としても事業の委託など、自主財源を確保できるよう支援を図りたい。

発言する黒﨑政美議員

問防風対策支援事業とは。

答松枯れにより松林が消失したところに防風ネットを設置したり、防風対策としてハウス・牛舎への補強対策をすることなどを考えている。

問未入園児の一時預かり事業が予算化されている。

こども園は保育士が足りずに６ヶ月未満の子を預からないのに、この事業で保育士は確保できるのか。

答難しいところがあるとは思うが、要望があり、応えるためにも調整を図りながら進めていきたい。

問学校給食の食材購入費補助金が２７５万円。

給食の献立表を見るとその季節ではない野菜などが使われていることがあり、その分、食材費が高くなっているのではないか。

答栄養士が児童生徒の身体のことを考えて献立を立てており、季節のものでない野菜が含まれることもあるが、なるべく本町の旬の野菜を使った給食を出していきたいとは思っている。

特別会計予算

令和３年度７会計予算総額　25 億 1372 万円

前年度より 4 億 631 万円↑

◆国民健康保険事業◆

前年度より 2602 万円↓

4 億 5758 万円

【主な歳出】

国民健康保険給付費	2 億 7993 万円
県への納付金	1 億　678 万円
保険事業費	988 万円

◆渡船事業◆

前年度より 203 万円↓

6862 万円

【主な歳出】

はまゆう運航費	3030 万円
さいかい運航費	1273 万円
総務費	1353 万円

◆介護保険事業◆

前年度より 1581 万円↓

3 億 7076 万円

【主な歳出】

保険給付費	3 億 3471 万円
地域支援事業費	2909 万円
総務費	693 万円

◆後期高齢者医療事業◆

前年度より 433 万円↑

5133 万円

【主な歳出】

広域連合負担金	4388 万円
総務費	742 万円

◆下水道事業◆

前年度より 554 万円↑

1 億 5104 万円

【主な歳出】

公債費償還金	8448 万円
公共下水道管理費	2235 万円
農漁業集落排水管理費	1168 万円

◆簡易水道事業◆

前年度より 6270 万円↑

1 億 4680 万円

【主な歳出】

総務管理費	6901 万円
施設整備費	4800 万円
公債費	2465 万円

◆国民健康保険診療所◆

12 億 6760 万円

前年度より 3 億 7760 万円↑

【主な歳出】

新診療所施設整備費	7 億 8000 万円
医薬品衛生材料費	1 億 4776 万円
医業用機械器具費	8079 万円

令和3年度の主な
新規事業

事業の効果が効率的に発揮されるか
議会は常に注視していきます

台風被害で使用できなくなったテニスコートのナイター照明施設の更新事業

ナイター料金は１時間５００円

たい肥センターのかくはん機の減速機などの修繕を行う事業

環境型農業の実践です

古民家ステイ「鮑集」の前の細い道を改良して交通の安全性を高める事業

注意一秒けが一生

あわび館の利活用を進めるための計画の策定と基本設計を行う事業

新しい活用の方法は

避難施設（和楽苑と若者交流センター）の防災機能を高める事業

シャッターを取り付けます

斑漁港内の上架施設のレールを改修する事業の支援

船底の保守などのために

船舶への被害を防ぐため海に流出した枯れ松を回収して処理する事業

大きな事故につながらないように

令和3年度の主な
継続事業

小値賀町民全体の福祉につながっているか議会は常に注視しています

筒井浦と浜津前目の漁港にある浮桟橋のガイドレールの補修工事を行う

漁業者も年々減ってきています

町道唐見崎線の土砂崩れを防ぐ工事を引き続き行う

工法は今までと同じやり方で

松くい虫対策として有人ヘリコプターや無人ヘリコプターによる農薬散布

残った貴重な松林を守る

農水産物の海上輸送に係る費用の８割を補助する

うち漁業関係には 2568 万円

移住者を一時的に受け入れるための住宅をさらに４戸新築する

この事業は令和３年度までの予定

老朽化した葬斎場の改修工事を引き続き行う

快適に通夜ができるように

町の観光パンフレットの増刷とリニューアルを図る

心に残る人に会える島。

一般質問 町長！

定例３月会議

「看護師・保健師等の専門職人材確保と訪問看護サービスの必要性について」

看護師の働き方改革を早急に

環境整備や人材育成・人材確保に努めます

近藤隆二郎議員

医療資源が限定的な本町においては、看護師や保健師といった専門職の存在はとても重要である。にもかかわらず、少人数による過酷な労働環境等にさらされている。

このままでは、住み慣れた自宅で最期を迎えたいという切なる希望はもとより、町内施設で亡くなりたいという願いさえもかなえられなくなる恐れがある。

近藤隆二郎議員

働き方改革をしないと診療所がもたない

問 医療資源が限定的な本町においては、看護師や保健師といった専門職の存在はとても重要だ。

早急に確保するためには、住居、ファミリーサポートなどの条件整備が必要ではないか。

答 西村久之町長

現在、移住定住促進住宅の整備や引っ越し費用の支援、子育て環境の充実に取り組んでいます。

ファミリーサポートについては先進事例を参考にしながら、移住が定着するよう取り組んでいきます。

問 看護師のファミリーサポートは必要だ。例えば民泊に夜勤の看護師の子どもを受け入れてもらえたら、民泊の収入にもなる。

答 前向きに検討します。

４棟ある医療従事者向けの住宅

問 夜勤手当が低いと聞いているが、専門職としての一定の給料は確保すべきだ。

答 今後、看護師以外の職も含めて支援策を検討していきたいと思います。

問 看護師の働き方についてどのように考えているか。

現場の意見を聞いて柔軟に迅速に対応しているか。

答 現場の意見も聞きながら改善できないか検討しています。

問 早くしないとこのままでは診療所がもたない。そのぎりぎりの時が来ている。

答 根本は人材不足ですが、切実に思っています。

責務として働きやすい環境整備、人材育成や人材の確保を進めていきたいと思います。

※特定地域づくり事業協同組合
事業者単位だと年間を通じた仕事が無い、安定的な雇用環境・給与水準を確保しにくいことなどが地域の人口流失の要因などにつながっている。
そこで、地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創り出し、職員を雇用して事業者に派遣する組合を作り、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保しようとするもの。

新診療所完成後の有効活用を

訪問介護サービスが必要だ

問「小値賀町医療保健技術者等奨学資金」の実績と課題は。

答 平成元年度からこれまで20名に補助を行い、うち4名が看護師として小値賀診療所に、1名は保健師として健康管理センターに現在勤務しています。

医療技術者を目指す生徒やその保護者に向けて本制度の周知を図ることや、医療技術者が慢性的に不足している現状を訴えることが必要だと考えています。

問町内だけでなく、町外者への支援も必要ではないか。

答 町外の人もこの制度は利用できます。

問本町では在宅看取りは難しくなっているが、誰もが住み慣れた自宅で最期を迎えたいと思っている。

また、入所や入院を圧迫しないためにも、訪問看護サービスが必要ではないか。

答 現実問題として、今の医療スタッフの状況では難しいと考えています。

問複数の仕事を組み合わせて雇用できる「特定地域づくり事業協同組合」※を本町でも早急に立ち上げるべきではないか。

答 この制度は、現在、様子を見ているところですが、民間でやりたい人がいれば町は応援したいと思います。

問診療所が移転した後の健康管理センターの2階に、地域包括ケアシステムや訪問看護ステーションを入れてはどうか。

答 4月より、健康管理センターの職員を役場住民課内に配置する予定です。

診療所移転後の活用用途は、医療・保健福祉施策の拠点や、雇用や移住施策に対応した活用など、さまざまな可能性を考えていきたいと思います。

傍聴席からひと言
（模擬公聴会）

～私にも言わせて～

子育てするために看護師を辞めた人はたくさんいる。

今の時代、都会ではできないような暮らしが小値賀ではできる、という魅力を発信したら、来てくれる人がいるのでは。

～質問を終えて～

看護師さん保健師さんといった専門職の人材不足については問題共有されていることがわかったが、その解決方法が従来通りでは何も解決されないのではないだろうか。

現在の看護師さんたちの救済のためにも看取りのためにも、緊急的かつ効果的な方法を求めたい。

町長！

一般質問

「佐世保市・新上五島町との連携について」

コロナ後の連携再構築で観光に力を！

五島広域での周遊の促進に努めていきます

佐世保市・新上五島町との連携強化を

宮崎良保議員

コロナ後に向けて、佐世保市、新上五島町との連携事業を構築し直す必要があると思う。

問 来年度の「海風の国佐世保小値賀観光圏」事業の予定は。

答 西村久之町長

おもてなし醸成事業や顧客満足度調査などを行う予定です。

問 佐世保鯨瀬ターミナルのボーディングブリッジ、高速船浮さん橋などの改修予定は。

答 佐世保市によると、現在整備中の岸壁は、令和６年度完成、７年度からの供用開始を予定です。

その後、高速船用の係留施設の配置変更に着手する予定で、ボーディングブリッジ整備は現在検討中とのことです。

宮崎良保議員

問 「五島列島おもてなし協議会」は、今後も継続するのか、やめるのか。

答 令和３年度も引き続き協議会に参画し、五島列島地域における広域周遊促進に努めたいと考えています。

問 長崎から上五島経由で小値賀に至る航路を復活させる考えはないか。

答 新上五島町の有川・津和崎・小値賀を結ぶ周遊型観光ルートは、令和３年度は今のところ、金土日の運航を予定しています。

問 小値賀・平戸間のチャーター船による観光ルート再検討の考えはないか。

答 平成29年度限りの取組みであり、現時点で再度取組む予定はありません。

あと４年以上このままらしい鯨瀬の高速船浮さん橋

町長！ 教育長！

「歴史民俗資料館の改修について」

歴史民俗資料館全体の修復計画を！

専門家の意見を聞いて整備計画作成したい

まずは塀のふくらみから補修していきます

（教育長）（町長）

老朽化が進み 安心して館内を案内できない

宮崎良保議員

歴史民俗資料館は寄贈されてから32年経過し、外周りの石垣のふくらみや梁の落ち込みなど、施設の老朽化が目立つ。

施設の運用を継続するためには、一部の修復だけでなく、施設全体の修復計画が必要ではないか。

答 西村久之町長

修復方法や計画については県の担当部局と連携し、有識者からの意見と助言などを踏まえて行なっていきます。

町総合計画などとの整合性を図り、資料館としての役割である文化の発展に寄与するための整備計画をまずは作成していきたいと考えています。

答 吉元勝信教育長

本年度に実施した公共施設老朽化調査の結果によると、旧小田家は屋根瓦の劣化、雨漏り、床板のきしみ、雨戸の老朽化などが全体的に進行しているようです。

道路沿いの塀は劣化が進んでいることから、次年度に補修する計画です。

専門家による評価が必要ではないか。

答 大工と定期的に確認しており、現在のところ危険度はないとされていますが、文化財なので、各所と調整しながら対応を図っていきます。

もし強い地震が襲ったら・・

傍聴席からひと言
（模擬公聴会）

～私にも言わせて～

とても良い資料館なので、観光客にも勧めている。これからも大事にしてほしい。

傷みがひどくなってからでは改修が難しくなるので、劣化したところは早めに直した方がいいと思う。

～質問を終えて～

今回の質問は、新型コロナウイルス感染症の一定終息後の他市町との連携を見直して、交流人口の増加のために本町への連携プログラムと交通アクセスの見直しを求めたものです。

しかし質問が２つのテーマでボリュームが多く、途中で時間切れになりました。

五島地区の観光客が小値賀でもう一泊するために大事なことですので、今後も継続していきたいと思います。

町長！

一般質問

「コロナ禍における社会構造変化への対応と施策について」

コロナ禍を社会構造変化の好機に

本町と企業の連携強化で地域課題の解決へ

本町が「企業にとってのふるさと」の発想で

松屋治郎議員

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は、人類が自然との共生に反し、自然を無視し、また破壊し続け、人為的な社会を作ってきたことによって地球温暖化が進み、様々な大規模災害が発生していることと同様、自然が人類に対し警鐘を鳴らしていると私は考えている。

問 このような社会構造の変化を好機ととらえ、災い転じて福となるような施策について、「まち・ひと・しごと」の観点から伺う。

答 西村久之町長

働き方改革の中で、ネットワーク社会の利点を生かし、小値賀で就労出来る環境を提供するため、本町と企業の連携強化が重要だと考えます。

企業を誘致するには、住宅や、一人親家庭に対するフォローアップ体制なども必要です。

企業が地域により深く入り込み、本社の一部機能の誘致や社員とのつながりを創出する「本町が企業にとってのふるさと」的な発想です。

サテライトオフィスなどにとどまらず、本町と連携して、地域課題の解決に向けた新たなプロジェクトに取り組むことも期待できます。

松屋治郎議員

徳島県神山町にある「神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス」のコワーキングスペースのようす
（2018 年 3 月に産業建設常任委員会にて現地視察）

徳島県神山町にある　築90年の古民家を改築した株式会社プラットイーズのサテライトオフィス「えんがわオフィス」の外観

それぞれの生き方を尊重する島に

問 先日の長崎新聞に「移住を考える人の中には、これまでのライフスタイルを変えたい人もいるので、それぞれの生き方を尊重するような島になってほしい」という本町の移住者の話が掲載されていた。

本町の人口減少対策としての移住対策は重要な課題であり、今後の町政に十分反映してもらいたい。

答 同じ考えです。しっかり備えていきたいと思います。

問 五島市には、奨学金を借りて大学、短大、専門学校等を卒業した人が同市に帰って就労すると、年間36万円もしくは24万円を10年間助成する制度がある。

この施策をどう考えるか。

答 移住者が本町で何をやりたいか、どんな目的で本町に来るのかは話していません。

良い制度だと思いますので、今後検討していきたいと思います。

問 都市部の企業が、都市部で仕事をする必要がなくなってきている。

本町の光通信を有効活用し、テレワークの推進、サテライトオフィスや個人向けのシェアハウスなどの整備も進めてほしい。

答 テレワークやワーケーションの受け入れについては、これから検討し、築き上げていきたいと考えています。

～質問を終えて～

このたびの新型コロナウイルス感染症は都市部ほどその猛威を受けています。

都市部の企業ではテレワークが増え、必ずしも都市部に住む必要もなくなり、若者を中心に暮らしやすさや子育て環境の良さを求めて地方への移住が増えています。

これを機に、本町の人口減少、慢性的な人手不足、人材不足等の解消のために大胆な施策を求め、また期待し、質問しました。

～私にも言わせて～

傍聴席からひと言
（模擬公聴会）

サテライトオフィスができれば利用する人はいると思うが、定住促進住宅は3年間しか住めない。

Uターン者、移住者にとって、住宅の確保がいちばん根本的な問題だ。

住宅の確保は移住者受け入れの必須条件です。

令和4年度以降は、財政状況にもよりますが、移住者も入居できる「町有住宅」を毎年3～5棟建てようと考えています。（西村町長）

町長！

一般質問

「新型コロナウイルス感染症の対応について」

医療関係者等に定期的なＰＣＲ検査を

無症状の場合は全額自己負担のため難しい

今田光弘議員

町も町民もそれぞれが苦労しながら困難な状況に立ち向かっており、幸いなことに現時点での感染者は報告されていない。

問 ＰＣＲ検査を希望者全員に無料で行う考えはないか。

答 西村久之町長

厚生労働省の通知に、無症状の住民が本人の希望により検査を受けた場合、全額自己負担とすると規定されており、無料でＰＣＲ検査を受けることはできない状況です。

問 医療関係者、福祉関係者などを対象に、効果的と言われる「週に一度の定期的なＰＣＲ検査」を行う考えはないか。

答 無症状の場合は検査費用が全額自己負担のため、費用負担が大きくなるものと考えます。

しかしクラスターが発生した場合は定期的な検査は有効であると考えており、感染拡大防止を第一に判断したいと思います。

今田光弘議員

高齢化率50％超え ワクチン全島一斉接種ができないか

問 ワクチン接種のスケジュールは。

答 まず医療従事者等への接種、次に後期高齢者、その後、基礎疾患を有する人や高齢者施設の従事者、さらにその後にその他の町民の順になる予定です。

（その後の情報として、4月5日の週に医療従事者への1回目の接種開始予定。高齢者は5月21日以降になる見込みとのこと。）

問 高齢化率が50％を超え、小さな島であることを考えると「ワクチン全島一斉接種」がベストではないか。

答 総人口が千人を超えているため難しいと答弁せざるを得ませんが、二次離島の町民については一斉接種が行えると理解しています。

届くワクチンの量によってその可否が左右されるため、その今後の推移に注目しながら、効率的な接種を目指します。

「可燃ごみの島外搬出とごみの減量化について」

資源ごみの分別に町がもっと力を

各家庭できちんと分別すればごみは減る

問 不用品の無料交換所を作ってはどうか。

答 良い考えだと思いますが、ごみか否かを見分けるノウハウが町にはないので、慎重に検討します。

焼却炉再稼働は未定

問 ごみ焼却炉はダイオキシンの問題から現在稼働を休止している。再稼働の見通しは。

答 改めて施設の原因調査を行い、原因を改善してダイオキシン類を再測定、問題がなければ再稼働となりますが、現時点では未定です。

生ごみの仮置きはあと１か月ほどで満杯に

問 来年４月から可燃ごみは新上五島町に運ぶ予定だが、前倒しもあり得るか。

答 ダイオキシン類基準値超過の原因調査の後、改善工事に係る費用や工事期間を見定めたうえで決定したいと考えています。

問 町外搬出に伴ってごみ袋が「有料指定袋制」になるとのことだが、いくらか。

答 有料化は考えていますが、単価は検討中です。

ごみ処理手数料は廃止に

問 ごみ処理手数料はどうなるか。

答 廃止する予定です。

問 地区に設置する大型生ごみ処理機より、コンポストを各家庭に無料で配る方が費用対効果が高いのでは。

答 コンポストをうまく使うにはそれなりの技術が必要で、使う意思のない人もいます。大型処理機は、設置すればその後の手間はほとんどかかりません。

問 地上設置型コンポストと電気乾燥式処理機の購入の補助限度額の見直しを。

答 平均価格を調査し、検討して見直すべきだと考えています。

問 資源ごみの分別にもっと力を入れるべきでは。

答 きちんと分別すれば、現在のやり方でも家庭の可燃ごみは相当量減らすことができるはずです。

～私にも言わせて～

傍聴席からひと言
（模擬公聴会）

ごみ袋が有料になると家庭でごみを燃やす人が増えるかもしれない。なぜ燃やしてはいけないかなど、町民向けの教育が必要だ。

～質問を終えて～

可燃ごみが有料指定袋制になると、家庭の負担が大きくなりそうですが、町の財政的な負担も今以上に大きくなります。

町民の皆さんの意識次第で、ほとんどのごみはリサイクルできます。

不用品の無料交換所は、ぜひ作ってほしいと思います。

コロナで終わらず
10の事業が令和３年度に繰り越しへ

新型コロナウイルス感染症の影響による事業の未執行や経費の削減などにより、1億1935万円減額した40億7789万円の補正予算が提出され、慎重に審査を行い、全会一致で可決しました。

なお、10の事業合計で4億8284万円が繰越明許費※として計上されています。

令和２年度
一般会計補正予算

～主なやりとり～

問 町道唐見崎線の災害防除工事や防火水槽改良工事を繰越すのは、コロナの影響なのか。

答 コロナの影響や、入札しても業者の手持ち仕事量が多く、不落になったため。

できるだけ早く完成させたいと思っている。

問 町避難所における感染症対策に係る備品の購入費500万円増額の内容は。

答 災害時の避難所にオゾン発生装置を50台購入して設置する費用だ。

問 コロナ関連の新たな支援策が始まっている市町もあるようだが、本町内でも困っている人は少なくない。新たな施策はないのか。

答 3月中なるべく早いうちに、改めて支援策を盛り込んだ補正予算を提出する予定だ。

slow and steady…

※繰越明許費（くりこしめいきょひ）
歳出予算のうち、その性質上またはやむを得ない特別な事情により、その年度内に支出が終わらない見込みのものを翌年度に繰り越して使用できる費用。

発言する浦英明議員

令和２年度
特別会計補正予算

各事業ともコロナの影響等による減額修正予算が提出され、こちらも慎重に審査を行い、すべて全会一致で可決しています。

7つの特別会計総額で8148万円減額となっています。

渡船事業	446 万円減額	6637 万円に
国民健康保険事業	2161 万円減額	4 億 7256 万円に
後期高齢者医療事業	133 万円減額	4650 万円に
介護保険事業	2823 万円減額	3 億 6931 万円に
簡易水道事業	254 万円減額	8359 万円に
下水道事業	597 万円減額	1 億 5317 万円に
国民健康保険診療所	1734 万円減額	9 億 3999 万円に

1月会議（1月14日）

1月会議

※財産の取得
本町では、予定価格5000万円以上の工事や製造の請負、予定価格700万円以上の不動産や動産の買入れや売払いには議会の議決が必要と条例で定めている。

財産の取得

1月には2度の本会議を開催しました。14日は財産の取得※（大型生ごみ処理機）について、27日は一般会計予算を1928万円増額する補正について審議しました。補正後の一般会計予算は41億9724万円となっています。

大型生ごみ処理機（トラッシュ）5基

落札：株式会社ヨロズヤ（一般競争入札）
取得価格：915万7500円
落札率：99.7%

地中の約2㍍四方、深さ約2㍍の空間を利用

～主なやりとり～

管理は各地区で

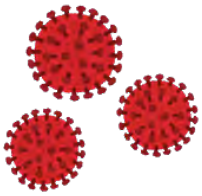
問 5基の設置場所は。
答 笛吹在、浜津、柳、木場、大浦の5地区。

問 ごみの回収方法は。
答 自分たちで生ごみを持って行って、ふたを開けて中に入れていただく。

問 どのような管理が必要になるのか。
答 周りを汚さないことや、周囲の草刈りが必要。
発酵促進剤を月に1袋ずつ投入して土壌菌を育てることも必要だ。

問 管理は誰がするのか。
答 役場ではなく各地区で管理していただく。

1月第2回会議（1月27日）



令和2年度

一般会計補正予算

時短協力飲食店に76万円

問 新型コロナ関連の営業時間短縮協力金1368万円の対象店舗数は。
答 飲食店31店のうち18店が該当し、協力すれば19日間分の76万円が支給される。

問 飲食店以外の事業所でも減収になっているところが多いが。
答 今後、コロナ対策第3弾としての対応も検討していきたい。

問 新型コロナ関連の関係備品購入費35万円の内容は。
答 サーマルカメラ2台と足踏み式の消毒スプレー2台分だ。

問 ごみ焼却場の不具合の調査は、今までと同じ会社が再度調査して、原因が究明できるのか。
答 一番状況が分かっているのがこの会社だ。
さらに部品メーカーの専門家にも調査に入ってもらい、原因を突き止める。

値中３年生模擬議会

～小値賀未来学の集大成～

中学校では、郷土小値賀について学んだことを基に、自分の将来と小値賀町の未来について真剣に深く前向きに考えていけるよう、キャリア教育を進めています。

１年生で学んだ小値賀学、２年生の職場体験学習、そして３年生では小値賀の未来について考え、それを学習発表会の劇で表現してきました。

その集大成がこの模擬議会です。

中学生にとって、このような場所で自分の考えを述べるというのは大変貴重な体験であり、今後、ずっと心の中に残るものであると考えています。

（小値賀中学校池田英二校長）

熱心に答弁する西村町長以下執行部

あいさつする池田校長先生

テーマ：空き家

改修して賃貸住宅に

問 本町には空き家対策として空き家バンクの制度はあるが、実際に空き家が減っているようには感じない。

この状態が続けばますます老朽化は進み、周辺住宅への二次被害も懸念される。

空き家を町が改修し、移住者向けに賃貸してはどうか。

答 主にお風呂やトイレなどの水回りをリフォームした移住者向けの住宅をこれまでに12棟整備してきました。

しかし建物が古く、シロアリや雨漏り対策など管理コストがかさむことから、空き家を改修しての住宅整備は一旦終了します。

お店やカフェに改修を

問 お店やカフェに改修して貸し出してはどうか。

答 起業を希望する人に、店舗の改修費用などを補助する仕組みは既にあるので、あとは島にU・Iターンする人を一人でも増やし、空き店舗とのマッチングにつなげていきたいと考えています。

利活用が難しい空き家については、解体を所有者に促しています。

再問 危険な空き家を処理しない所有者に対し、罰則は設けているのか。

答 危険個所の状況は写真と文書で通知し、電話でも対処をお願いしています。

罰則はありませんが、建物所有者が自分の責任において適正に管理をするよう、何度もお願いをしていきます。

テーマ：観光

長期のホームステイを

問 民泊では釣りや収穫の体験などを行っているが、もう一歩踏み込んで、ホームステイしながら農業・漁業を仕事として携わるという取り組みもしてはどうか。

答 ほとんどの観光客の滞在日数は短いため、長期的なホームステイというのは難しいと思います。

農業や漁業を行いたいという人に対しては、視察の受入れや研修制度などを活用していただいています。

研修終了後に本町に就業する場合は、施設の整備や設備の購入などに必要な資金の支援も行なっています。

美術コンテストの開催を

問 本町の原風景を広く町外に知らせるとともに、将来に残していくために、景色の絵や写真の美術コンテストを開いてはどうか。

答 皆さんの要望を聞きながら、まずは旅の思い出の1枚を投稿できるフォトコンテストを町内の大きなイベント等に合わせて開催できるよう検討したいと思います。

また、絵画などに興味がある人にも本町の魅力が伝わるような情報発信にも努めていきます。

トライアスロンの提案は

問 平成31年度に行われた中学生模擬議会で「小値賀でトライアスロン大会開催」という提案が出された。

これに対し「各関係機関の協力が必要で、今後、関係各機関の皆さんの意見を聞きながら検討していく。」との回答だったが、その後の経過は。

答 解決すべき課題が多く、町として開催に向けた協議には至っていません。

課題を解決する方法など関係機関と連携して研究を行い、実施できるか否か次回の模擬議会で回答したいと思います。

再問 開催が可能という結果になった場合、町民の意見を取り入れるためのアンケート調査などの考えは。

答 当然、町民や各種団体の意見も伺いながら進めていきます。

テーマ：自然

川村聖斗
橋本萌愛
﨑山瑛貴

私たちができることを

問 江戸時代の人たちが後世のために松を植樹したように、令和の私たちが新しい小値賀の自然を作っていきたい。

松枯れが深刻だが、松の伐採の基準はあるのか。

答 伐採は、まずは民家や道路脇などの危険箇所から行い、それ以外の場所については、被害量や時間的な問題などを踏まえて判断していきます。

これからは、「ふるさとの寄附金」なども利用しながら「守るべき松」に範囲を絞って守っていこうと考えています。

皆さんにも、姫の松原の松葉かきのボランティアなどご協力いただけたらと思います。

再問 空中散布や地上散布・樹幹注入をしたら本当に松は枯れないのか。

答 現状見てのとおりですが、全く効果がないわけではないと考えています。

海ごみ回収船の導入を

問 東南アジアで活躍している「海ごみを回収する船」を導入してはどうか。

その資金集めで、私たち中学生も協力することができるのではないか。

答 この船は、現在は河川で利用されているようです。

海ごみは、海外から漂着するものが多いため、実効性のある発生抑制対策を関係国が講じるよう、これからも国・県に要望していきます。

海ごみを「拾う」。

海に「捨てない」。

皆さんのご協力をお願いします。

レジ袋ゼロの島を象徴に

問 海ごみをなくす象徴として、レジ袋の代わりにエコバッグを使う「小値賀島はレジ袋ゼロの島」という取り組みをしてはどうか。

答 7月からのレジ袋有料化に伴い、本町ではマイバッグを全世帯に配布する準備をしています。

小中学生の皆さんが古着などでエコバッグを作って町民に配るなどの活動をすることが、プラスチックごみをなくすための象徴となるかも知れません。

可能であればぜひご協力をお願いします。

漂着ごみで埋まる赤浜海岸

テーマ：医療

山田　優
濵田朔羅

オンライン診療の検討は

問 大きい病院に行く感染リスクが低くなり、精神科などの診察にも適していると言われるオンライン診療を本町でもとり入れてはどうか。

答 オンライン診療は、とても重要な制度だと認識しています。

現在、遠隔医療の体制整備に向けて作業を進めていますが、この制度についてはメリット・デメリットがあるため、診療所の医師らの意見も伺いながら、さらに検討を進めているところです。

再問 いつまでに検討するのか。

答 取り入れる方向で検討はしていますが、本町に合った診察・診療の方法などを医師と協議しており、いつまでにという明確な返事は、今はできません。

ドローンで薬の輸送を

問 本町で小型無人ドローンによる薬の輸送を行うことは可能か。

コロナ禍という今までにないピンチをチャンスに変える良い機会だと思うが。

答 法的に難しいうえ、ドローンの技術と人材が必要なため、現状では難しいと考えています。

再問 法的なことをクリアしたら輸送を行えるようになるのか。

答 スタッフがそろえば可能になると確信しています。

在宅医療や訪問看護の必要性もとても重要と考えており、町民の皆さんが安心して医療を受けられるよう今後も取り組んで行きたいと思います。

テーマ：人口減少

伊藤愛紀
濵田愛羅

離島留学の効果は

問 本町の離島留学制度のアピール方法と、この制度が人口減少の歯止めや人材確保にどのような効果があると考えているか。

答 本町ならではの「小中高一貫教育」の取り組みを柱に、本町のホームページをはじめ、離島留学を実施している他市町と連携して情報発信をしています。

留学生が島に暮らす中で、自然や文化、心の豊かさを感じ、本町の良さを理解し、ファンとなり、将来的に定住することなども考えられ、人口減少の歯止めになるのではと大いに期待しているところです。

再問 私たち中学生にもできることはないか。

答 皆さんが小値賀の外で小値賀のことを語る、伝えることが一番の小値賀のＰＲになると思います。

離島でも仕事はできる

問 離島でも仕事ができるといった魅力をリモートワークをしている人にアピールすれば、移住は無理だとしても、ショートステイや長期滞在ならできるのではないか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で新しい働き方が求められています。

本町でもこれを機に、空き家や公共施設などを活用したリモートワークに関する取り組みを検討しています。

移住者や長期滞在する観光客の増加につなげていきたいと考えています。

答弁を聴いて必死に考えて再質問（再問）する生徒たち

緊張感から解放されて充実の笑顔に

突撃取材 シリーズ７回目

～薬剤師が皆さんのお薬の相談にのります～

「おぢか薬局」の松山恵さん

起業や事業拡大などで雇用の場を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出す事業も５年目。
少しずつですが、町ににぎわいが戻ってきたような気がしませんか？

移住したのに薬局がなかった！

薬剤師の国家資格を持つ松山さんは、２０１５年にご夫婦で千葉県から移住。

移住後は薬局で働けたらいいなと思っていたそうですが、小値賀町に薬局はありませんでした。

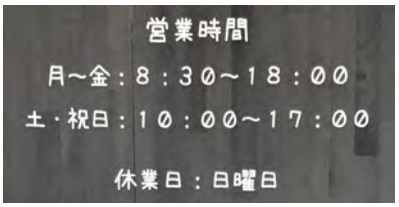
市販薬が買えないと町民の皆さんが不便だと考えた松山さん、市販薬を売る薬屋さんを始めました。

その後、この補助事業があることを知って一念発起し、古民家を改修して調剤薬局を開業することになったそうです。

調剤室のある店内は、小さいながらも清潔感のあるオシャレな雰囲気で、市販薬だけでなく、エスニックな輸入食品なども置かれていました。

薬局には見えない古民家風のおぢか薬局

調剤室の松山さん



もっと処方せんを持ってきて

雇用は現在１名。

将来的には薬剤師を含めてあと２名雇用する計画ですが、まだ知名度も低く、処方せんを持ってくる人が少ないため、経営的には厳しいとのことです。

より安全に薬を使用することができるよう「お薬手帳」も発行でき、薬剤師もいますので、市販薬との飲み合わせのアドバイスなど、何でも気軽に相談してくださいとのことでした。

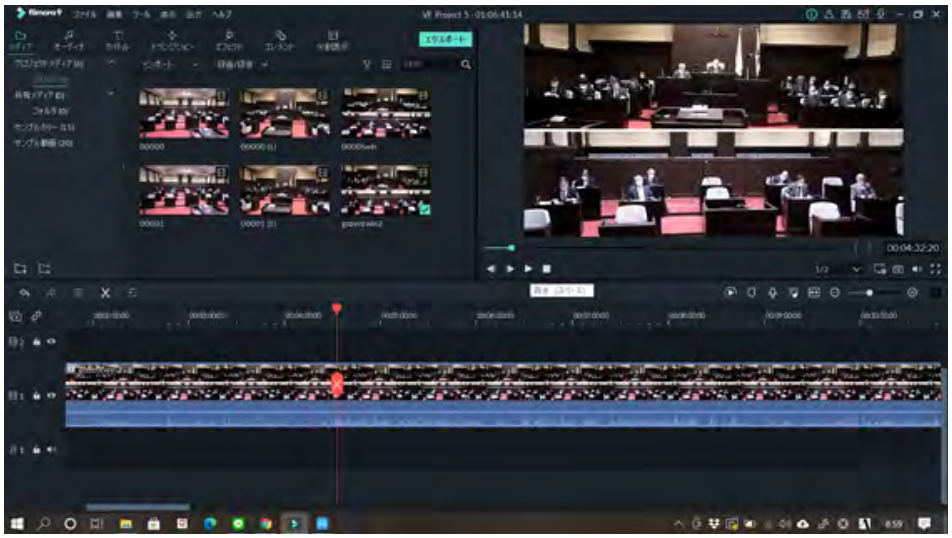
有名スーパーの商品も

議会運営委員会から

近藤隆二郎委員長

コロナ禍において、直接町民の皆さんの意見を聞いたり、語りかける場が希薄になってきています。

収束がまだ見込めない状況では、例年春に実施している各地区での出前議会も中止せざるを得ない見込みです。



動画編集画面の様子です

そこで、昨年から始めた動画配信がある一定の視聴者を得ていることから、出前議会をオンライン（動画配信）で実施しようと企画しています。

まずは、30分程度の動画にまとめてYouTubeで配信する予定です。

また、議会活動に関する町民アンケートやオンライン講演会なども計画しています。

「小値賀町議会オンライン出前ギカイ2021」企画案

- あいさつ
- 本動画の目的とコンテンツ
- 令和３年度予算の紹介／大型事業など
- 新規事業＆継続事業
- 議会が取り組んでいる主な課題

議会モニター意見交換会

小値賀町議会では、議会活動に関心を持ち、助言などをいただける町民の皆さんに、議会モニターをお願いしています。

先日、議員との意見交換会を行い、さまざまなご意見、叱咤激励の言葉ををいただきました。

モニターの定員は10名で、現在7名の方にご協力いただいています。

モニターに興味のある方、希望される方は議会事務局までご連絡ください。

議会モニターは16歳以上の町内在住者

（表紙の写真）

「北松西高3年生卒業レポート発表」

発表会には北松西高校のアイランドチャレンジ事業アドバイザーの中島洋長崎県立大学特任教授の姿もありました。

この活動で、地域の課題の発見・解決力やＡＩ時代に対応できる行動力が身につき、「自分は地域のために役に立てる」という思いを強くすることができたのではないか、とお話されていました。

議員からの質問にも即座に対応してくれました

長年の夢が実現！

笛吹港ターミナルのボーディングブリッジが完成して利用できるようになりました。工期20か月、総工費２億６千万円の大事業でした。

本会議の動画　続々とアップ中！

小値賀町議会の動画サイトをYouTubeで公開しています。

少し長めの動画もありますが、一般質問や議案ごとに分けています。

議員と執行部とのリアルなやりとりを見ることができますので、どうぞご覧ください。

会　議　録

なお、この動画は正式な議事録ではありません。閲覧用議事録は町立図書館にあり、原本は役場内議会事務局に保管しています。
予算特別委員会、決算特別委員会及び本会議の会議録（平成14年３月以降）は、Web【小値賀町のホームページ→町政→小値賀町議会会議録】で閲覧できます。

小値賀町議会
Facebook

編　　集　小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者　小値賀町議会議長
電　　話　0959-56-3111

ステイ・ウィズ・コミュニティー

編集後記

長崎県の新型コロナウイルス感染状況は２月末現在で感染者数１６１２名、回復者数１５４３名となっています。

この数字が多いか少ないかは別にして、現在の感染者数は69名で、感染症に対する治療方法も確立しつつあるようです。

また近日中にはワクチン接種も予定されており、コロナ後の小値賀町におけるさまざまな対応が動き出すと思われます。

しかし、安易な考えは禁物です。

そのような中、３月１日には北松西高校の卒業式があり、小・中学校も最小人数で開催されたようです。

子ども達の夢の実現のための門出を心からお祝いいたします。

今年の成人式は延期されたままです。

次世代を担う子供たちのイベントを町民みんなでお祝いできる日が来ることを心から祈りつつ、コーヒーを含んでいます。

（編集委員　宮﨑良保）